

# 龍谷物語 in 洲本 楽しくまじめに

8月4日～9月3日、1カ月間の  
フィールド合宿

大森谷、五色漁協、千草竹原、五色OFGの  
4チームに分けて魅力マップ作成や農漁業を  
活用したツアーの提案を行った。計75名の学  
生が滞在。1カ月間全て滞在した学生の大半  
はRijinへとつながる。  
噂の1カ月合宿。



## 2014

フィールド合宿に参加した学生が  
Rijin（里人）を設立

月1回のペースで大森谷に通う活動をスタート



大森谷の小森さん

大森谷の小森さん「いつも  
も帰っておいで」という言  
葉と、棚田を100年先も残  
したいという想いがRijin設  
立のきっかけとなる。

1回生向けにかいぼり体験ツアー  
を実施

10年ビジョン報告会・千草竹原にて小水力発電デモ  
機設置作業を行った。



4月

8月

1月

4月

11月

1月

3月

## 2013

総務省の「域学連携地域活力  
創出モデル実証事業」として  
2013年から龍谷大学と洲本  
市の連携スタート

かいぼり体験ツアー

淡路県民局主催のかいぼりに初参加。  
以後毎年の恒例イベントになる。

龍谷大学政策学部の「政策実践・探  
求演習ⅠA・ⅡA（国内）」の  
洲本プロジェクトとして単位化

2014年度はフィールド合宿対象地域だった大森谷、  
千草竹原、五色OFG、五色漁協の10年ビジョンの作  
成を軸に活動する。

千草竹原にて小水力発電導水  
路の整備作業、U字溝を設置



千草竹原の小水力発電完成！  
小水力発電を使った音楽コンサートを  
開催！



# 2015

## 8月

塔下新池初訪問、池の管理者である田主と学生の意見交換ワークショップ

## 10月

千草竹原で小水力発電を使った2回目の音楽コンサートを開催！  
大森谷で太陽光発電によるフットライト設置作業



## 11月

大森谷でフットライト点灯式と住民交流をめざしたキッズイベントを開催



## 9月

淡路信用金庫本店でかいぼりへの参加企画をプレゼンをする  
京都工芸繊維大学の学生と交流、  
ついどはんの蔵改修工事を手伝う



# 2016

## 12月

この年より合宿の宿泊所が  
ついどはんに

ついどはん：京都工芸繊維大学によって改修された  
古民家を域学連携の拠点として使っている

塔下新池でフロートソーラーの  
設置作業



## 1月

かいぼり体験ツアーに新たに淡路  
信用金庫が参加  
塔下新池ため池ソーラー発電所竣  
工式、学生が看板をデザイン！



# 2017

8月

洲本プロジェクトOBによる里帰りツアーを開催。現役生とOBの交流始まる

9月

## 龍谷フロートソーラーパーク洲本 竣工式

当日の手伝い、学生代表として挨拶を行った。



10月



## 塔下新池あるもの探し、 田主インタビュー

塔下地域の基礎的データを引継ぐ資料作成のため、インタビューを行った。ある田主から「学生は地域にお金を落とす仕組みを考えていると思ってた」との一言が学生の胸に響く。

10月



# 2018

## 城下町洲本レトロなまち歩きで 米ワッフルを販売

お米の新しい売り方として、鮎原米を包み込んだワッフルを地元のイベントで学生・地域・Rijinと共同出店として販売した。ここに至るまで試行錯誤の繰り返しの日々。



12月

## 千草竹原にて首都大学東京との ワークショップ・交流

ロングトレイルに同行したり、首都大学東京の皆さんが取り組んでいるPV作成のワークショップを行って行く中で、お互いの千草への考えを語り合う良い機会に。これからもつながっていきたいですね。  
(実は首都大学東京と学生同士が交流するのはこれが初！)

2月

## 竹狩りスタディツアー・メンマ試食

1回生向けのかいぼり体験ツアーから変わり、放置竹林問題にアプローチし、竹伐採するというまともな体育会系ツアーの誕生。  
地域おこし協力隊の高木さんが作るメンマが美味すぎて学生がメンマから何かできないかと模索中・・・



2月

## サイクリングMAP「すもリング」完成！

洲本市に点在する再エネ施設やこれまで関わってきた地域をつなぎルート化することが背景にあり、MAPを活かしてグリーン&グリーン・ツーリズムを形にしていき洲本のファンを作っている段階。  
猛暑の中、MAPのネタ集めのために自転車で走った。



2019

## いつもお世話になっている人紹介（おまけ）



洲本市農政課高橋さん

初見は、強面かつ公務員ということで硬いイメージと思うが、合宿の度についどはんでの夕食交流会（呑みニミネーション）で高橋さんのもう一つの凄い顔を見るとは、誰も思っていないはず。。しかし誰よりも地域を愛し、域学連携にはなくてはならない男！



地域おこし協力隊三崎さん

洲本のお兄さんの的存在。凄く優しく、学生に寄り添ってくれ、学生が困っているとの的確な助言で軌道修正や間違いを見つけさせてくれるついでにどはんの管理人。東京出身なので標準語の印象が強い。ちなみに高橋さんの大学の後輩でもある。

洲本にまた行きたくなる一つの要素なのかも



地域おこし協力隊高木さん

洲本に行けば会える、面倒見が良いお姉さん。合宿に行く際は些細なことでもサポートしてくれたり、相談にも乗ってくれたりと気軽に話しやすく、ガールズトークにも入っていける元気盛りだくさんのユーティリティプレイヤー。高木さんの作るメンマは超絶美味しい。

# 2019

## 7月

五色町の淡路特別養護支援  
学校跡地を見学

## 9月

学生企画の新メンマづくり  
千草竹原でキャンプ体験



## 7月

## 8月

## 9月

## 8月

京都工芸繊維大学の合宿に参加  
Rijinツアーに参加

## 9月

洲本地域おこし協力隊合同  
卒隊発表会で甘いメンマ  
「アメーンマ」の試食会



## 10月

## 10月

龍谷大学SDGsポスターコンペに  
「放置竹林の解決に向けて」を  
出展し、学長賞を受賞

## 12月

## 12月

大森谷でかいぼり  
子供クイズ大会



# 2020

## 2月

五色町鮎原下で竹狩りツアー  
淡路信用金庫とコープこうべも参加



## 9月

武田食品冷凍（株）で  
あわじ島ちくを見学  
卒業生との関係再構築に向け  
「おもしろい学校」を開校



## 2月



「竹狩りツアー」

## 5月

Rijinと学生のオンライン交流会



日時

・2020年5月16日（土） 19:00～21:00

参加方法

・メールリストに送付のURLより、ZOOMにて開催

懇親会内容

- ・チームメンバーを知ろう！
- ・洲本の魅力を話し合おう！

参加予定メンバー

現役学生・Rijin（OB生）  
洲本市職員（高橋さん）・櫻井先生・石倉先生

2020年度の洲本プロジェクトの学び  
をより深くしていく、より楽しくして  
いく為に懇親の場を設けました！

こんなご時世なので直接お会いでき  
ないのは残念ですが、  
「すもと」というキーワードで緩く  
盛り上がりましょう!!

## 11月

千草竹原でPRビデオの撮影、  
名もなき観光のPRビデオ撮影

## 12月

## 12月

千草竹原のキャンプ場で  
PRビデオ撮影  
（YouTubeチャンネル「洲本プロ  
ジェクト」で公開中）

# 2021

## 10月

あわじ島ちく×鮎原米アレンジレシピ集を発行

「きょうのつまみで一缶」

「きょうの晩ごはん」をご当地缶詰自動販売機（ごとかん）で販売スタート（2022年3月まで）



## 11月

「令和3年度地方創生実践塾」が兵庫県洲本市で開催

龍谷大前深草駅前で「龍大駅マルシェ@龍谷大前深草」を開催。

塔下米、あわじ島ちく、あわじ島ちくアレンジレシピ集を販売



## 5月

## 6月

## 7月

## 10月

## 11月

## 12月

## 1月

## 2月

5・6月にバーチャルフィールドワークを実施

7月には古民家改修（荷物の片づけなど）を実施



## あわじ島ちく アレンジレシピ集

2020年度につづき「あわじ島ちく」を使ったオリジナルレシピを考案。おつまみ、ピザ、和え物、つくね、とん平焼き、中華風雑炊など13品をまとめ調理方法を紹介した。



## 千草竹原2022

千草竹原のアーカイブ雑誌として「千草竹原2022」を発行。域学連携のはじまり、あわじ花山水への想い、小水力発電のこと、原点を知るためのシリーズ第1弾。

# 2022

## 9月

### 9月

塔下新池田主と五色町鮎原塔下マップ制作に向けたワークショップを実施

あわじ里山プロジェクトと竹のやたら編みを体験



## 10月

### 10月

千草竹原で「手作り竹灯籠&星空鑑賞」イベントを開催。親子連れ約20名が参加し、竹灯籠を制作。夕暮れ時に星空を鑑賞。



## 11月

### 11月

メンマサミットに向けて竹ティピー試作

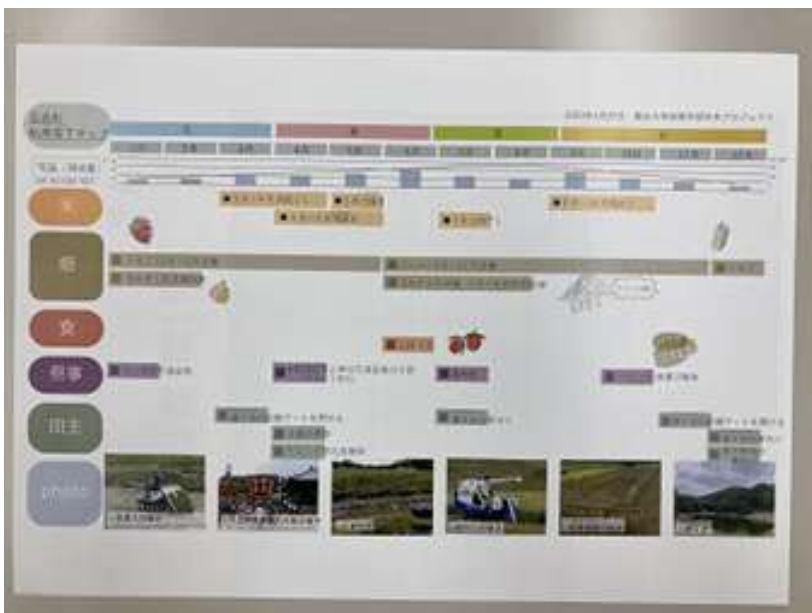
「第4回純国産メンマサミット」洲本市文化体育館で開催。全国から約300名参加。



## 2月

### 2月

塔下新池周辺の生活季節歴や行事などを掲載した「五色町鮎原塔下マップ」を作成。



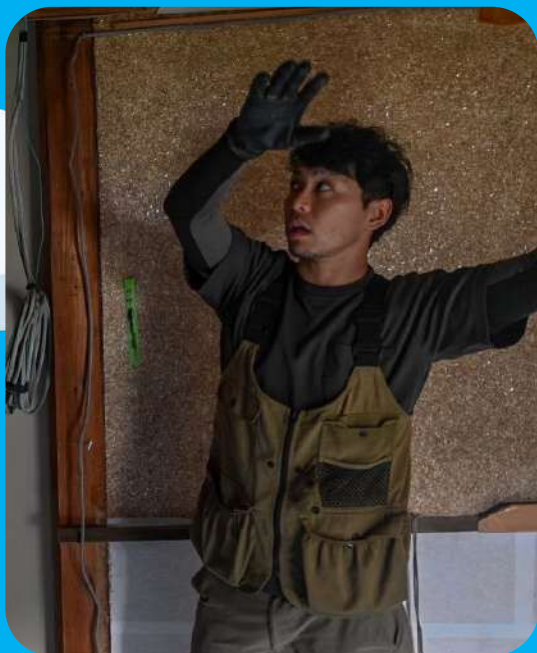
## 3月

### 3月

千草竹原の魅力を伝えるために「すごし方ガイド」作成。親子で楽しめるアクティビティーなどを掲載。



# 今年一緒に活動したい人たち



小林さん  
地域おこし協力隊



福井さん  
株式会社成田



鮎原塔下集落営農組合と  
塔下新池田主のみなさん

# 企業連携班

今年から新しくできた班

## 1 かいぼりとは?

農業が行われない時期に、  
かいぼりを必要とする  
農業用ため池の水を抜いて  
海に放出し、ため池を健全な  
状態に保とうとする作業。

## 2 株式会社 成田

建設業を営み「地域のお困りごと  
解決」事業を展開し地域に密着。  
かいぼりを通じた地域づくり活動を  
龍谷大学政策学部洲本PJと連携。

## 3 かいぼり君

株式会社成田では、  
かいぼりを簡単に行えるように  
「かいぼり君®」という機械を  
開発。  
現在はかいぼりで得られる  
堆積土から石を取り除き、  
田畑に肥料として活用できる  
ように進化を続けている。



龍谷大学政策学部洲本プロジェクト



**古民家  
改修!**



**フェノロジーカレンダー  
作成のための  
ヒアリング**



**2023年度  
活動内容**



**小水力発電の  
水路補修**



**テントサウナイベント  
11月11日実施**

洲本プロジェクト

**千草竹原班**

**～千草竹原とは～**

千草竹原とは、洲本市街地から車で15分で、竹原川沿いの上流に位置しています。人口10人、4世帯の小規模集落ですが、あわじ花山水やロングトレイル、お食事処「エビスパ」があり、パワーと魅力あふれた自然豊かなところです。

# 塔下新池班 2023

塔下新池ってなに??

洲本市五色町鮎原塔下にあるため池  
周辺ではお米や玉ねぎなどの栽培が行われている

## 活動内容



ため池の清掃



農作業のお手伝い

**地産地消キャンプとは?**

塔下新池の食材を使用し  
農業体験を通して地域に触れる



地産地消キャンプ



鮎原米と塔下地域で  
採れたピーマンの肉詰め

公式Instagram  
龍谷大学洲本PJ塔下新池班



@TOU\_GE2023